



この写真は作曲家のフレデリック・ショパンです。ポーランドの出身でたくさんの名曲を作曲していますがそのほとんどがピアノの独奏曲です。そのために「ピアノの詩人」と言われています。ショパン自身もピアニストです。今から170年ほど前に亡くなっていますが命日が10月17日です。その命日の前後3週間に、

ショパン国際ピアノコンクールが開催されます。

このコンクールは世界3大音楽コンクールの一つとも言われていて、5年に1度開催されます。

昨年度はコロナ感染症拡大の影響で延期され、今



年度6年ぶりに開催されました。素晴らしいポーランドのホールで開かれます。



このコンクールで2位と4位に日本人が入りました。

2位は反田恭平さん。4位は小林愛実さんです。日本人で1位を取った人はまだいません。2位を取ったのは

51年前の内田光子さん以来です。内田光子さんは世

界的に有名な日本を代表するピアニストです。

このコンクールがどれほどすごいのか紹介すると、まず予備審査でコンクールに応募するには、国際的に著名なピアニストか教授の推薦が必要です。そしてピアノを弾いているDVDを送って審査してもらいます。それにパスをすると、予備予選があります。予備予選に出られた人が500人くらいいるそうです。そこから1次予選、2次予選を通過して3次予選。3次予選に出場した人は23人。その中に日本人は4名いたそうです。そこから12人



に絞られて本選に出られます。本選ではオーケストラと一緒にピアノ協奏曲を演奏します。そしてついに入賞の8人に選ばれ、2位と4位に日本人が入りました。

授賞式の写真もあります。素晴らしい快挙ですね。音楽の分野でも日本人の若者が大活躍しています。嬉しいことですね。



皆さんの周りにも素敵な音楽がたくさんありますね。スクールバンドの皆さんは毎日一生懸命練習に励んでいます。そして先日はミニコンサートを開くことができました。上手になった素晴らしい演奏

を、全校の皆さんで聞きましたね。3年生も新たに入団します。頑張ってください。

これからも、みんなで音楽に親しみ、音楽を楽しんでいきましょう。